

新田塚コミュニティ(株)

学童保育 + 塾と水泳

新田塚コミュニティ(福井) 1カ所で提供

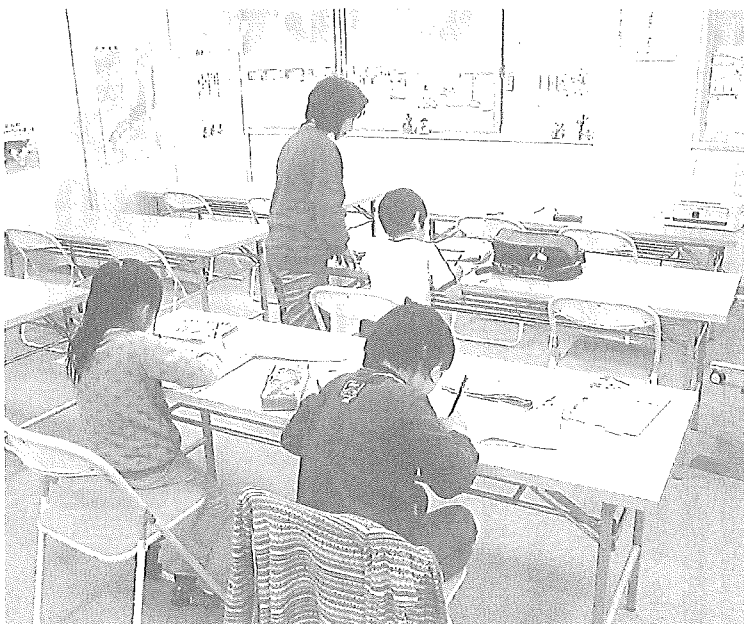
北陸初の複合型サービス

バス迎え、延長対応も

4月から

スイミングスクール運営の新田塚コミュニティ(本社福井市新田塚1丁目、小森宣夫社長)は、共働き、一人親家庭の小学生を放課後に預かる「学童保育」に、学習塾や英語教室を加えた新事業を来年4月始める。会場は新田塚スイミングスクールやしろ校(同市若杉2丁目)で、オプションで水泳教室も利用できる。「預かり」「学習」「運動」を1カ所で提供する試みで、同社によると複合的な学童保育サービスは北陸初。

(宇野和宏)



今夏から試験的に実施している学童保育事業で、宿題に取り組む子どもたち。福井市若杉2丁目の「こどもステーションまんでん」

同市内には54カ所の学童保育施設があり、市社協やNPO団体が市の委託を受けて運営している。定員2343人に対し約2200人の児童が利用。学校教育課によると、共働き家庭の増加や核家族化を受けて、利用を望む保護者は近年増えている。やしろ校2階に「こどもステーションまんでん」を開設。スタッフ5人を配置し、社南、社西、社北、豊各小学校の1〜6年生を対象に、平日午後2時〜同6時に預かる。午後8時までの延長保育のほか夏休み、土曜日も

別料金で対応する。

同社は2009年からやしろ校の一角で学習塾を運営している。このノウハウを生かし、学童保育では通常の宿題サポート以外にも週1回ずつ、学習塾と英会話教室を開講する。

14年度の定員は20人。入会金1万5000円、月会費1万9950円。4校の下校時刻に合わせて行つバスによる迎えは月2100円。

今年の夏休みに試験的に行つたところ、定員20人に対して44人の応募があった。継続を望む声を

受け、9月以降も3人を受け入れている。

「まんでん」の高畑真吾施設長は、既存の学童保育では場所や学年によっては定員オーバーで漏れている児童もあり、保護者のニーズは高い。1カ所でのニーズも受けられる利点をPRし、民間ならではの質の高い学童保育を提供したいと話している。同社は県内4カ所でスイミングスクールを運営しており、他拠点でも学童保育を検討していく。